

報告事項カ

県立美術館の整備運営状況に係る県内高等教育機関との連携について

県立美術館の整備運営状況に係る県内高等教育機関との連携について、別紙のとおり報告します。

令和3年7月7日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

## 県立美術館の整備運営状況に係る県内高等教育機関との連携について

令和3年7月7日  
美術館整備局美術館整備課

令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館において、学生に対話型鑑賞のファシリテーターとして参画していただくための取組及び学生に県立美術館の設計等への興味をもつていただくための取組を県内の高等教育機関と連携して始めておりますので報告します。

### 1 対話型鑑賞のファシリテーター養成について

小学生の想像力・創造性・コミュニケーション力を育むため、県立美術館で対話型鑑賞をしていただくことを計画していることから、学生に対話型鑑賞のファシリテーターとして参画していただくよう対話型鑑賞プログラム(ファシリテーター養成)を実施した。

#### (1) 県立博物館の「コレクション宅配便」の開催

博物館の美術作品(絵画、磁器など)を鳥取短期大学に持ち込み、博物館職員がファシリテーターとなり、学生に対話型鑑賞を体験していただいた。

- 日時・場所: 6月14日(月)10:45~12:20 鳥取短期大学
- 対象: 鳥取短期大学国際文化交流学科1年生 30名



#### (2) ファシリテーター養成公開講座の開催

ファシリテーションの基礎となるコミュニケーションスキルを学ぶ公開講座を開催した。

- 日時・場所: 6月17日(木)13:00~14:30 鳥取短期大学
- 講師: ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長 佐藤 敬子氏
- 参加者: 鳥取短期大学国際文化交流学科1年生30名、鳥取大学・鳥取環境大学の学生・教職員(web)、とっとり県美応援団、県立博物館ワークショップづくり隊ほか 計約80名

#### (3) 大学内の作品を用いた対話型鑑賞ファシリテーターの体験

- 日時・場所: 6月29日(火)13:00~14:30 鳥取短期大学
- 対象: 鳥取短期大学国際文化交流学科1年生 30名
- 今年度の予定: 12月頃、県立博物館に来館した小学生に対して、学生がファシリテーターとなって対話型鑑賞を実施予定。

### 2 県立美術館の設計・建設に係る公開講座の開催について

県立美術館の整備は、国内外で数多くの建築物を手掛ける著名な設計事務所、建設会社が設計・建設をするなど、非常に魅力的な事業であることから、県内高等教育機関の学生等に設計・建設への興味を抱いていただくよう、とっとりプラットフォーム5+αと連携し公開講座を開催した。

- 日時・場所: 6月25日(金)13:30~15:00 鳥取短期大学 (webで実施)
- 主催: とっとりプラットフォーム5+α(※)
- 講師: 楨総合計画事務所 取締役副所長 長谷川 龍友氏
- 演題: 鳥取県立美術館に向けて ~建築の公共性を考える~
- 参加者: 県内高等教育機関の学生(鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取大学、鳥取環境大学)、県建築士会会員ほか 計約220名
- 今後の予定:
  - 今年度: 楨総合計画事務所による講座をさらに2回開催予定
  - 来年度以降: 建設工事期間中において、設計者等の関係者による講義や建設現場見学等の実施など

※「とっとりプラットフォーム5+α」は、県内の5つの高等教育機関、県、倉吉市、県教育委員会、経済・医療福祉団体等で組織し、高等教育及び地域の更なる活性化を図ることを目的に取組を行っている。(事務局:鳥取短期大学)